

公表

児童発達支援 事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|----------------|----|--------------|
| ○事業所名 | 地域児童福祉事業所 ぼけっと | | |
| ○保護者評価実施期間 | R8年 1月 5日 | | ～ R8年 1月 30日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 27 | (回答者数) 22 |
| ○従業者評価実施期間 | R8年 1月 14日 | | ～ R8年 1月 21日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 8 | (回答者数) 8 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | R8年 2月 21日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|---|
| 1 | スタッフ1人1人の強みを活かしたチームワークがとれている ・ミーティングや振り返りを日々行い、支援について共有の目的が持てている | ・毎日のプチミーティング、振り返り、毎週のミーティングなどで日々の支援に対する再確認、次のステップを話すようにしている ・チームで考える(1人で抱えないように、スタッフのコミュニケーションが取れる機会を作っている) | ・休休日のスタッフも出てもらい、全体ミーティングを毎月1回行うようにする |
| 2 | 学ぶことに意欲的 ・特性の理解、コミュニケーション支援(PECS)、強度行動障害養成研修など専門的な研修の充実 | ・外部の講師、コンサルを行っている | ・全員もしくは複数で受講することで、研修の振り返りを支援に活かせるようにする ・毎月全体ミーティングを行い、その時に一緒に研修を受ける時間を確保する |
| 3 | 子どもたちがとにかく大好き ・子どもたちの好きなこと、興味があることを知りたい ・保護者の方、通っている所の様子も知り、ぼけっとに来ている時以外の子どもたちの様子も知りたい | ・子どもたちの好きなことを少なくとも5つはみつけるようにしている ・色々な場所で、子どもたちが安心安全に過ごせるよう、他機関との連携を強化する(送迎時、担当者会議等で様子を聞かせてもらう) | ・今の時期の支援ももちろん大事だが、これから大人になっていく子どもたちをイメージしてライフプランに沿った支援を目指す ・子どもたちの豊かな人生の土台作りを、保護者の方と一緒に考えていく |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 保育所や認定こども園、幼稚園との交流やその他地域で他の子どもと活動する機会が少ない | 積極的に交流の機会を設定してはいるが、公園に行ったり、地域のイベントに参加することで交流の場になればと考えている | 日頃の様子や地域のイベント参加等、ぼけっと通信やメール等でお知らせをしっかりとできるようにする |
| 2 | 保護者同士の交流の機会の周知 きょうだい児イベントの開催や交流の場の周知 | 午前中の児童発達支援は親子通園をメインとしている 近年働かれている保護者が多く、親子で来られる方が減ってきているが、親子通園の中で保護者同士の交流の場になればと考えている また、同法人内で保護者向けの学習会やきょうだい児イベントを企画している | 日頃の様子や地域のイベント参加等、ぼけっと通信やメール等でお知らせをしっかりとできるようにする |
| 3 | 避難訓練の周知 | 災害・感染の避難訓練を定期的に行っている 訓練の日に利用ではない方へ、ぼけっと通信にて報告するようにしている | 日頃の様子や地域のイベント参加等、ぼけっと通信やメール等でお知らせをしっかりとできるようにする |